

日本、そして香川県内の遠隔医療の取り組みを学ぶ JICA課題別研修がスタートします！

JICA 四国は、香川大学医学部と協力し、1月8日(祝・月)から1月22日(月)までの日程で、世界10カ国から計18名の研修員を招き研修を実施します。この研修は2022年度より実施をしており、これまではコロナウイルスの蔓延により来日研修が叶いませんでしたが、今年度は満を持して来日研修を実施する運びとなりました。

研修員は大学病院の医師、保健政策に関わる行政官のほか、JICAの支援により建設された日本モンゴル病院の職員などいずれも医療・保健分野の専門職であり、医療体制の拡充や遠隔地での診療体制に課題を抱えています。研修を通し、産官学連携による遠隔医療サービスを活用した地域保健システムの改善に必要な施策や知識の習得や、各地域での遠隔医療サービスの導入と地域保健システムの改善に向けたアクションプラン策定を目標に2週間の研修に参加します。(日本モンゴル病院については以下ご参照ください)

https://www.jica.go.jp/Resource/press/2019/20190619_20.html

本研修では、和田健司 香川大学副学長・医学部教授をコースリーダーに迎え、日本の遠隔地での診療について講義や視察を通して学びを深め、アクションプランを策定し帰国後に実施できるようプログラムを構成しています。

研修日程前半は関東近郊で研修や視察を行い、今週13日より高松に来訪し終了日の22日まで講義を受講するほか、県内各地を視察する予定です。視察先にはメロディーインターナショナル株式会社、各地の病院・クリニック、また遠隔診療の実態を直に学ぶため、栗島を訪問し診療の様子などを見学します。

研修期間中には香川大学の上田学長、池田豊人知事を表敬訪問いたします。

香川県内の遠隔医療の取り組みだけでなく、地域への医療貢献について注目される研修です。この機会にぜひ取材にお越しください。

《研修概要》

コース名: 課題研修「遠隔医療による地域保健医療体制の改善—日本の遠隔医療先進県の事例を通じて—」
受託機関: 香川大学医学部 (コースリーダー: 和田健司 副学長・医学部教授)
研修期間: 2024年1月8日(祝・月)~2024年1月22日(月) うち香川県内の日程: 1月13日(土)~1月22日(月)
研修員: 18名
対象国: ケニア、ガーナ、セネガル、ヨルダン、インドネシア、モンゴル、バングラデシュ、パキスタン、ウクライナ

【研修日程(香川県内の視察等抜粋)】

日にち	時間	訪問先
1月16日	午前	(株)メロディーインターナショナル
	午後	そごうクリニック(K-MIX-R 活用事例見学)
		さぬき市民病院(iCTG 活用事例見学)
1月17日	午前	栗島診療所、ほか島内散策
	午後	松井病院
1月18日	午前	城山苑
	午後	陶病院
1月22日	終日	香川大学医学部(アクションプラン発表、研修修了式)

<表敬訪問>

【1月16日(火)】 9:30~10:00 香川大学長表敬

(香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア 2階 多目的ホール)

出席者: 上田夏生 学長 山村直史 JICA 四国センター所長
ほか関係者

※日本人の通訳が同席します(研修員へのインタビューも可能です)。

※研修の実施状況により予定が前後するほか、取材対応が難しい場合もございます、予めご了承ください。

◎取材頂く場合は、お手数ですが必ず事前に JICA 四国または先方へご連絡願います。

【本件に関するお問合せ先】

JICA 四国センター・業務課(小栗/岩滝/松本)

Tel: 087-821-8827 / E-mail: Oguri.Daisuke@jica.go.jp